

ぼくは今日、新聞記者の三好さんに新聞のことを聞き、印象に残ったことは昨日のWカップの試合の記事が地域によってちがうことです。地域によって出さないといけない時間が違うから、それによって地域ごとに内容が違うことは初めて知りました。元々の新聞記事が急の情報で内容をすぐに変えられるのがすごいと思いました。

三好さんが、神戸新聞のことをたくさん教えてくれて、すごくうれしかったです。私たちが新聞を作るときに、とても役立ちます。見出しがない新聞から見出しを考えたり、わかりやすく説明をしてくれたのでよかったです。ありがとうございました。また、機会があればよろしくお願いします。

私は、新聞が家に届くまでたくさんの人が協力していろんなことをしていることを知らなかったのでびっくりしました。取材の人は毎日聞き込みをしたりしていて、大変なのですごいなと思いました。神戸新聞にも工夫がたくさんあってすごかったです。他の新聞社のひみつも調べてみたいと思いました。

私は新聞のことを聞いて、思ったことは「記者ってすごい」です。話で災害にあった地域や火事が起こった場所にかけて取材をすと言っていて、命がけでも情報を発信することに驚きました。他にも新聞を何枚も作成して、その中から1枚を選ぶと聞いて改めて記者はすごいなと思いました。

いろんな行程をこなして行って神戸新聞が作られているのを聞いて、新聞に興味をもちました。少し新聞を読んでいた時期があってばらーっと見ていた位だったのでこの出前授業を聞いてもう一度読み直そうと思ったし、新聞を見直しました。取材で正確にメモをとったり、編集でわかりやすくレイアウトを作ったりといろいろな人が関わって新聞ができるんだと一番印象に残りました。

「もし学校に直径10mのてんとう虫が出たらこんなことをするよ。」と三好さんはおもしろくわかりやすく教えてください、楽しく学習ができました。新聞の見出しの大事さにも気づけましたし、頭やかた、へそなど、書く部分によって名前が変わるなんてびっくりしました。たくさんのパワーポイントで説明してくださり、本当にわかりやすかったです。ありがとうございました。